

九十二名 自信を持って

上八万地区成人式

平成二十年一月十三日、上八万地区成人式が該当者九十二名中七十三名の出席を得て開催された。

市長の「式辞」教育委員会の「激励の言葉」さらに山田県議、梯市議の「祝辞」で祝福、激励された新成人を代表して星河内地区の河上祐樹さんがし



っかりした口調で決意を込めた謝辞を述べられた。

ゆったりとした中にも厳粛感漂う五十分間の式典は予定通り終了。「今年の新成人の式典に臨む姿勢は大変良かった」と関係者一同が異口同音にした成人式となった。

式典のあとは恒例になっていく新成人の集い。婦人会の皆さんの心づくしの料理を食べながらの和やかなひととき。小学校六年時の担任の先生も参加して下さっている。

話す言葉に自信がある、所作も大人びている、表情も明るい。頼もしい若者が上八万には育っている。そんな喜び

に浸ることができた成人式会場から新成人が去ったのは午後の日ざしが柔らかな時だった。

敬老会

「元気でやって来年も来うな。」

平成十九年度上八万地区敬老会は九月十六日、上八万コミセンで開催されました。

本年度の該当者は四百五十六名、出席者は九十八名。該当者のうち数え年百歳以上の方が二名、九十歳になられた方が十三名。お元氣な高齢者に会場全体が感動する敬老会となりました。

祝辞は市長代理の齋藤教育次長と地元山田県議、梯市議の三氏。生原賀平さん（樋口）が「地域での暮らしに感謝し、地域のために奉仕する充実した生活を心がけた」と喜びと決意の謝辞を述べられました。

町内会長 会長の安永一



夫氏の万歳三唱で和やかで幸福感いっぱいのお次第は終了しました。

婦人会の皆さんの手づくりの記念品もうれしい贈り物。「高齢者向けの医学」と題した中西武院長の講演に耳を傾け、昼食を挟んでの余興を楽しんだ皆さん。

「今年も来れて良かったな。来年も元気でやって来うな」そんな会話がうれしく聞けた敬老会は三時すぎに終わりました。

敬老会 無料送迎 **大木タクシー**

会場(上八万コミセン)

に遠い西地・田中・川西地区などの敬老会該当者の参加の手助けにと無料送迎を長年に亘って実施されている大木タクシーさんの御厚意に利用者は勿論関係者一同、大変感謝しています。

謝辞

夢に向かって挑戦

新成人代表 河上 祐樹

私たちは豊かな時代に家族や地域の方々に見守られて育ってきました。そして今日は、感謝の気持ちも新たに成人式という晴れの舞台に立つことができました。

私たちの仲間が社会人であったり、学生であったりしますが、今日を機に、さらに知識や技術を身につけ、経験を積んでよりよい社会の実現のため努力します。

環境問題・少子高齢化・格差・物価の値上がり等々日本は国際的にも国内的にも多くの難問を抱えています。

私たちは希望の持てる明るい社会を私たちの手で築くべくそれぞれの夢に向かって挑戦しつづけることを誓います。

今日の成人式はその第一歩を踏み出す日と位置づけたいと思います。

ふる里会

上八万ふる里会の歩み

ふるさと会員 奥田 清一

私達のふるさと会は昭和五十五年頃に結成し、各地区より一、二名の会員を募り活動を始めました。その後提唱者である故松本良平先生を代表として、昭和六十三年九月には明治以降軍役に服し戦死された人達を忍び武勲録の発刊をしました。又平成元年四月

最近では会員が高齢化のため故人となった方が多く、私達会員で調査する事が困難となり、活動は停滞状態ですが、残された

宅宮神社

御神楽・伊勢節保存会(仮称)結成のお知らせと、協力をお願い

中林 積

私達は上八万町で生まれ、氏神様に守られて日々生活しています。心のふるさと鎮守の森の宅宮神社では、子供の頃から親しんだ秋祭りや文化財の神踊り、だいたい祭りが今も行われています。特に秋祭りは、きれいな着物を

には上八万石造文化財を発行し、町内の石で造られた文化財については、各会員が素人ながら懸命な努力を重ねた結果生れた代物であると思っております。この書籍は各会員公民館、県市図書館等に寄贈しましたので興味を持たれる方はそちらで御覧戴ければ幸いです。

着せてもらい、胸をときめかした笛や太鼓の音、夜店の綿菓子やおもちゃ、目を閉じれば浮かんでくる故郷のなつかしい思い出です。以前は大里祭りから宅宮祭りと五日間屋台が出て、道中では声じまんの人達が伊勢節を歌い、神輿をはじめ大里、七組、元組、明善の各屋台が勢揃いして、夜店も多く、お年寄りから子供達まで大変にぎわったものでした。屋台が出なくなつて三十年、太鼓の打ち方などは忘れられつつあります。神踊り保存会

文化伝承 2グループの 取り組み

十四名で、西暦二千年記念として現在の八万小学校体育館西側の七宝山に、建設費を出し合い身長二、四米の観世音菩薩(観音さん)を建立し、世の中が平和で楽しい社会であり、苦しみのない世が実現する事を祈願しました。周囲には桜も植樹しています。春四月には花見がてら拝観して戴ければ有難く思います。

終りになりましたが、現会員は高齢のため活動は休止状態ですが、若い人達の力で上八万の文化の



(勝野昭会長、全氏子が会員)は現在活発に活動していますが、祭りについても昨春秋に保存会を結成



発掘、創造のために貢献して戴く方々が続いて下さる事を期待しています。

しました。補助金をいただき、太鼓、カネ、笛等も整備しました。地域の人々に楽しんでいただけるよう、いつでも心に思い出として残るよう伝承に取り組みたいと思います。現在約二十名で毎月二回練習をしています。町民の皆様、ぜひご参加下さい。また、横笛の吹き方、伊勢節をご存じの方はお申し出ください。

連絡先

中川 清(六六八〇二五五)
中林 積(六六八〇〇四四)
河野通宣(六六八〇一六七)

防災研修

自主防災研修

去る五月二十三日、各町内会単位で組織している自主防災の研修会が市東消防署から二名の担当者を招いて上八万コミセンで開かれた。

地震時の対応についてのビデオを見たあと、地震を想定した「備え」で大事なこと、地域での情報交換や組織としての活動などについて話し合いが行われた。



文化祭



「ささぐり演芸」に湧く

二月四日の早朝、上八万文化祭が始動。婦人会の方々がコミセンに来る。つづいて餅つきの担当者が前庭に集まる。

調理室でも前庭でも白い湯けむりが立つ頃、他の部所の係も準備に忙しい。

七団体の模擬店が販売を始める頃、福山さん（下中筋）のボランティアによる餅もつき上がり、無料サービスのぜんざいにも人が集まる。

園児から高齢者までが出品して下さった作品展、汗と力の結晶の農産物品評会と即売

会の会場も例年以上の賑わいを呈している。

午後の演芸・福引きも会場いっぱいのお客・参加者となる。中でも各地区代表の方々の芸は、さすが一流、感動させる。拍手もなかなか鳴り止



祭 夏 祭 り 祭



盆明けの八月十九日、上八万夏祭りが上八万コミセン・上八万児童館で開催された。

八団体の出店と婦人会が行う不用品バザーに人が集まる。

二十一世紀にちなんでか二十一組の出演となった芸能大会はカラオケが中心。各地区から推されて舞台上立つ人だけにのどに自信のある人ばかり。

特別出演は「佐々木義典歌謡ショー」&梅津龍太郎「クシヨ」。

まない。特別出演の「ささぐり演芸」は福岡県から招いた母と子による唄と踊りとおしゃべりで一時間の会場を笑いのるつぱと化した。

満足感の中、役員であと片付けを終えてコミセンをあとにしたのは短日の夕日が沈んだあどだった。

上八万 婦人会

さらなる充実をめざして

会長 藤本アヤ子

私たち婦人は上八万町民の皆さんの御支援・御指導を得て公民館内外での研修会や講演会に参加し、自らの見識を広め、家庭や地域に奉仕することを心がけております。

人権講座や料理講習では学ぶことの喜び・楽しさを実感しています。ふれあい教室の皆さんとの交流は教わることの多い活動です。上八万小学校の子どもたちとの交流も年齢を忘れさせてくれる貴重な時間です。

上八万夏祭りとは文化祭では婦人会々員総出で出店してい

カラオケ

楽しみにしているカラオケ

西名 豊子

もう何年になるのかな？

私が続けているカラオケクラブ。

私の生活の一部になりき

ます。材料の買い出しから準備、販売と多忙を極めますが、やり甲斐のある行事への参加です。

敬老会での記念品作りも重要な活動です。

会員は昼間の仕事での疲れの中、コミセンに集まり夜遅くまで布を裁断しミシンに向



でいてとても大切なものです。なかなか上達はしませんが、気の合う仲間と和気あいあいと話しながら、好きな歌を歌っていると、とてもいいストレス解消になります。普段の生活の中では大きな声を出す事も少ないので、マイクの前でお腹の底から声を出して歌うと体も心もスッキリしません。他の人は迷惑かもしれませんが？

これからも元気の続く限り仲間と一緒に土曜の夜の公民館でのカラオケは続けていきたいと思っています。

かいます。高齢者の皆さんに喜んでもらえることだけを考えて取り組んでいます。疲れを忘れて作業の中で仲間と交わす楽しい会話が明日への活力となっています。

今年も皆さんの御期待に添える充実した婦人会をめざしてがんばりますので一層の御指導をお願い致します。

ただ婦人会加入地区が少ないため十分な活動ができていない面があります。一地区でも一人でも多くの御加入を切望しております。



2人のボランティア



私に出来る
ボランティア
子ども見守り隊

上八万町東山

明丸 和靖

子ども見守り隊が発足して三年目を迎えました。最近は何時どこで何が起るか予測できない不安な世の中です。私は校区の主な通学路を中心に「できるだけ広く」を目標に自転車で行く時間を巡回して

通学路の清掃を五年

上八万町中山

大坂 宏さん

上中筋と花房を結ぶ通称「切り抜き」と呼ばれている通学路を五年に亘って清掃しているのは大坂宏さん（七十七歳）。山合いの坂道数百メートルは一年中、落ち葉が絶えない。大坂さんは毎日二回、それを掃き集めて処分する。



います。

初めのうちは子ども達も不思議そうに私を見ていましたが、そのうち次第に笑顔で挨拶もしてくれるようになり、また地域の方々とも馴染みができてやり甲斐を感じています。

孫娘が小学校でお世話になっていきますので、せめて卒業までは地域の大切な子どもを見守っていきたいと思っています。

「こんにちは」「ありがとう」子どもたちのあいさつに支えられる私のボランティアです。



人家から離れて寂しいそこは、児童が見知らぬ人に声をかけられたと聞き、落ち葉の下から這い出す大みみずや百足に驚き怖がるのを見、濡れ落ち葉で滑って転んではと始めたと言われる。

小学生の下课時刻や日の暮れ近くには必ず箒を手にする大坂さんがそこにいる。「おじさん、ありがとう」ここを通る子らの思いがうれしい。

角風と

ランプシェード

上八万コミセンの玄関を入ると正面の壁と空間を飾る角風とランプシェードが来館者の目を引く。

昭和初期まで吉野川南岸で上げていたと言われる角風は実寸の一辺一・一メートルの四角い風。その両側にはミニ版にしたわんわん風。実寸なら直径十間と記されている。製作者は上八万町東山の近藤



康次さん。三歳頃から風とのつき合いが始まり小学生頃から風作りを始めて七十余年。数年前まで続けていた楽しみとのこと。超技巧派の寄贈品。

ランプシェードは市販の既製品が古びたのを機に神山町の前野亮治さんにお願ひして作り直してもらったもの。素材はキビソ、染色は山桃の木皮を使った草木染め、編み方はみだれ編みと記されている。前野さんは教師時代から書画陶芸と趣味広く、退職後に諸分野で力を発揮している人。

時間と労力を注いだ匠の技は今後ずっとコミセンを訪れる多くの人を感動させてくれるだろう。

ふれあい教室

若く元気で仲良く

上八万公民館のふれあい教室は「若く元気で仲良く」を

モットーに、出口アサノさんを中心に平成十九年度も全スケジュールを無事終了しました。

人権講演会・淡路七福神巡り・健康体操・ミニサンタ作

学遊塾

地球と人の心に

やさしいもの

上八万公民館主事

岡 秀子

今年の学遊塾は世代交流をしながら五回開催しました。花苗の植え付けは、大人の人に土の作り方や植え方を教えてもらいながら作業をしました。いつもコミセンの庭にお花を植えて下さる山中さんのお花と一緒にコミセンの庭を飾り、育てる楽しみと花を愛する心が育ってきたように思

生け花



私と生け花との出会い

生け花クラブ 大滝 和子

公民館で初めて生け花クラブを見せてもらった時、皆さんののびのびと楽しそうに生けていたので私も習ってみたいと思入会。それから早八年。今は木曜の夜の生け花の時間が生活の一部になって、



います。「空きビンで花器作り」はお気に入りのビンに麻紙・ビニール紐を巻き世界で

楽しいひとときを送っています。先生の薦めで講習会や展覧会などに参加し、生け花の基本や他の人の生け方など自分の目で確かめながら学んでいます。同じ花材でも花器や生ける人によって違った生け方になることも分かりました。上八万文化祭では、先生と花材集めに山野を歩きます。自然に触れることでどんな花材でも上手に生けられるよう

一つの花器を作り、文化祭に花を生けて出品しました。本の読み聞かせは、小さい子供とその親が参加。一日一回少しの時間でも子供達とふれ合い、絆を深めるきっかけになればと思います。ぬくもりのある木で作ったおもちゃを使った遊びは、ほっとするひとときでした。今年も多くのボランティアの方々にお世話になり感謝しております。今後ともご協力賜りますようお願い致します。



に早くなりたいと思っています。

ある時は池坊、ある時は自己流。和気あいあい楽しい生け花クラブ。木曜の夜、公民館の工

房、一度のぞいてみませんか。入会者大歓迎。



すくらむ教室

敬老会記念品作り

小川 久代

平成十九年度のすくらむ学級は、人権問題、健康体操、敬老会記念品作り等々、公民館内外の行事に数多く参加しました。

そうした中でも私は記念品作りには、特に深い思いがあります。

平成十九年度は巾着作りをお手伝いさせて頂きました。大変な数と夜遅くまで作業したりで苦勞もありましたが、みなさんと一緒に心をこめて

り・西山興隆寺と別子ライン観光・大塚比古神社とバルトの楽園映画村見学などどれをとっても内容の充実したものがかり。毎回たくさんの方が参加してくれました。新しく加入して下さる方も増えていきます。定員はありませんのでお誘い合わせて御参加下さい。

がんばりました。

皆様の喜んで下さる顔を思い浮かべ、次回も、記念品作りのお手伝いに参加出来る事を心待ちにしております。



徳島市公民館 連絡協議会表彰

平成十九年度のふれあい教室及びすくらむ学級でリーダーとして活躍した人を表彰する式典が昨年十月二十二日に郷土文化会館で行われ、上

八万公民館からは二人が表彰されました。

ふれあい教室

西名豊子様

すくらむ学級

入江一美様

西名さん、入江さん

おめでとうございます。

第32回 徳島市公民館大会



感謝

◆「ここ（和室）の畳、よう傷んだな。開館以来、取り替えてないな。そろそろ新しくしたら？」（元館長の奥田さん）

早速、張り替えさせていた

◆「婦人会役員さんの入会依頼にも拘らず敬老会や成人式のいろいろを加入地区の会員さんに頼っている未加入地区の方々の気持ちってどうなのかな？」（田中の女性）

あなたの気持ち届いてほしいネ。

◆コミセンの庭のつじ堂の屋根にサギ（鳥の名）が留まる。主事さん大急ぎで庭に出て追い払う。お蔭で池の鯉は命拾い。

◆この度、任を終えて辞される公民館運営委員さま、まちづくり協議会役員さま大変お世話になりました。

編集後記

広報「かみはちまん」第3号ができました。

今回も貴重な原稿をお寄せいただいた方々、取材に御協力をいただいた方々に深く感謝しております。

編集不慣れのため玉稿の一部を省略させていただきましたこと深くお詫びいたします。

当紙への御意見などお聞かせ下されば幸いです。

（編集係大下）



上八万まちづくり協議会

役職名	氏名	職歴
顧問	山田 豊	徳島県県会議員
顧問	梯 富子	徳島市市議員
顧問	河上 治義	上八万自治協議会長
顧問	川人 善夫	前自治協議会会長
顧問	高山 秀雄	上八万小学校長
顧問	奥田 満一	環境保全協議会長
顧問	武市 昭三郎	前 会 長
会長	大下 栄二	
副会長	河野 通宣	上八万町内会連合会会長
副会長	久保 昭	上八万社会福祉協議会会長
副会長	安永 一夫	上八万町内会長会会長
副会長	藤川 智九	しらすぎ台自治会会長
副会長	平山 功	市農協専務
副会長	藤本 アヤ子	上八万婦人会会長
副会長	勝野 昭	文化団体代表
副会長	岡 和博	上八万体育協会会長
副会長	内海 健二	上八万公民館運営委員会委員長
副会長	辻 敏江	上八万小学校PTA会長
監査	相田 伸二	防犯連絡協議会長
監査	中林 正人	前上八万消防分団長
監査	川人 玲子	JAフレッシュミズ副部長
事務局	内海 健二	上八万児童館館長
会計事務	岡 秀子	上八万公民館主事

公民館運営委員

氏名	地区	氏名	地区
川上 善一	西地	山口 輝子	寺山
阿部 増江	田中	近藤 信一	下中筋
三木 敏之	花房	脇谷 充	下中筋
前垣 淑美	花房	長谷部 昭	上中筋
曾良 重次	星河内	河野 実	上中筋
河上 美代子	花房	塩江 卓也	上中筋
作本 勝幸	樋口	宮本 英雄	川北
竹内 和美	樋口	伊藤 博	川西
荒川 正	樋口	西谷 学	中山
里見 光一郎	東山	高橋 良和	中山
内海 健二	広田	村上 廣子	西山
山本 昭彦	広田	藤本 アヤ子	川北
窪川 智恵子	下中筋	川人 玲子	川北
安永 一夫	下中筋		

運営委員 (町内会長)

氏名	地区
三牧 寿夫	西地
板東 雄二	田中
二木 守花	花房
坂口 義輝	星河内
桑内 敏巳	東山
生原 賀平	樋口
川人 謙	下中筋
滝倉 宣賢	下中筋
高橋 雅也	下中筋
安永 一夫	下中筋
大門 忠義	樋口
近藤 昌義	広田
桜木 堅司	広田
河野 通宣	上中筋
吉井 芳男	川北
西 雄	進川
長野 靖弘	中山
藤川 智九	西山

婦人会

役職名	氏名	地区
会長	藤本 アヤ子	川北
副会長	阿部 増江	田中
副会長	川人 玲子	川北
会計	黒川 育子	樋口
監事	桑内 昭代	東山
監事	吉田 美代子	東山

婦人防火クラブ

役職名	氏名	地区
部長	立道 寿子	西地
副部長	武岡 恵美子	東山